



# 道央家族会会報



## 道央家族会会報発刊にあたり（道央地区知的障がい児・者家族会 会長 小野正弘）

私たちの、我が子、兄弟等への想いを全く聞かず、「障害者自立支援法」を廃止するとの約束を守らず、看板の掛け替えに過ぎない「障害者総合支援法」が来年4月1日から施行されます。自立支援法の根幹にあった問題は一つ解決されておられません。

障害福祉については、政治が政策を決め、その約束を実行するのが行政であることから、まず政治を変える運動が必要です。そのためには、私たち親、兄弟の主張に賛成してくれる政治家の方々を増やしていくことが大切です。具体的には、全施連の顧問団PT会議で作成する「家族が求める暮らしのあり方」～親の想いを社会に届けたい～の提言書を活用し、会員の身近の議員さんに働きかける運動を展開したいと考えます。

今回「道央家族会会報」を発刊するにあたり、私たちをとりまく情報の共有化をはかり、我が子、兄弟が快適に暮らし、保護者も安心できる世の中になるように頑張りたいと思います。

---

## 研修会のお知らせ

「後見人制度について」、道央地区知的障がい児・者家族会の研修会を開催します。

我々や利用者が高齢になってきている現実の中で、我が子や兄弟は成年後見制度を利用することによって、将来の生活の安心が得られます。

下記の要領で研修会を開催し、今一度、知的障がい者の成年後見制度について考える機会を持ちたいと思います。皆様のご出席を、心からお待ち申し上げます。

日程：2013年1月16日（水）午前10時～正午

場所：北広島市芸術文化ホール

講師：藤井 浄 様（手をつなぐ育成会 小樽会長／小樽四ツ葉学園保護者と職員の会）

---

## 全施連全国大会イン札幌のお知らせ

「第9回全国知的障がい者施設家族会連合会全国大会イン札幌」（仮称）が来年、開催されます。

日程：平成25年10月22日（火）～23日（水）

場所：ホテルライフオーブ札幌

内容：大学教授の基調講演、シンポジウム、交流会

我が子らの幸せを願う仲間が全国から集結する予定です。

各家族会の多くの会員が参加し、大会を成功させましょう！！



## 青空まつり（新篠津ふれあいの苑家族会）

8月26日 新篠津村で最大のイベントである「青空まつり」がありました。

朝9時ごろから、多くの催し物があり、村以外の人も楽しみました。

18時30分頃から、祭りを締め括る、各地区、団体による山車と踊りのパレードがあり、ふれあいの苑と幸生園も各々山車を持っており、山車引き、踊りのグループに分かれ、ふれあいの苑では、子供たち、保護者、職員、150人くらいが例年にない暑い夏の日を楽しみました。

子供たちの楽しんでいる笑顔が、私たちの活力となりました。



---

## 利用者の笑顔が何より（厚田はまなす園親和会）

今の社会の現実には少子高齢化で国家の福祉方針には大きな期待は出来ません。そんな中で知的障がい児・者も年々歳を重ね、施設利用者の家族も高齢化していき、施設側の利用者に対する日常生活に於ける衛生管理や身体健康管理の徹底が実施されるよう要望し、施設と医療機関との提携の促進を働きかける為、施設と家族会が一体となり意識を共有し行動する必要があると思います。日々の食事や日中活動や利用できるサービスの増大等も当然今後の課題ではありますが、大局的見地から、敢えて記するものです。

潤いのある生活を送る為には、利用者の笑顔こそが家族には必要です。年老いても家族会が発展し皆で力を合わせこれからも活動を続けてまいります。

---

## 保護者の一人として（千歳いずみ学園保護者会）

今年度の千歳いずみ学園保護者会の定期総会は重要な案件を抱えていました。それは社会福祉法人いずみ学園から施設整備に係わる改修資金の要請を受けて、保護者会として資金拠出を行うことの提案をすることでした。私としては非常に気が重かったのですが、総会では会員の大きな後押しで懸案事項が円滑に承認されました。その時の安堵感は今も消えずに残っています。

現在の分場通所施設は、千歳市内に2箇所所在し、両施設とも古い木造家屋での日中活動ですので、寒期の到来前に真新しい施設での日中活動に入れることは、利用者にとって嬉しいことであり保護者の方々にも、きっと喜んで戴けると大きな期待を寄せています。

近年、社会福祉法人千歳いずみ学園は、施設の拡充により利用者の定員が増加しています。利用者の増加に応じて保護者の会員数も増加し、入所、通所、分場、通所授産、グループホームなどを合わせ160名にも達しています。

今後とも保護者の立場をしっかりと認識して、利用者のより良い生活環境の改善を求めて、より結束していくことが必要と考えています。

## 第1回北広島市民の郷祭り（北ひろしま福祉会共栄緑の郷）

昨年までは「緑の大地祭り」の名称で北ひろしま福祉会主催の町内会の催し物でした。今年からは、「北広島市民の郷祭り」と名称を変更し、8月25日に開催されました。

今年は、開設以来、初めて道路を通行止めにした歩行者天国を設け、広々とした会場での開催となりました。開催に際して、北広島市並びに社会福祉協議会、北広島商工会からの後援や市内の幼稚園や大学等、多くのご協力をいただきました。

今年のお祭りには、“つなげる未来”というテーマのもと、北ひろしま福祉会のたくさんの思いが込められていました。日ごろお世話になっている諸企業や団体、または市民の皆様にも少しでも貢献したい。北ひろしま福祉会が地域に根付き、地域の理解と共生を目指し、地域に愛され、地域の誰もが参加できる「ふれあいの場」として、利用者はもちろん、地域住民や多くの広島市民に参加をしてもらおうと、名称も改めた開催となりました。

約1,500名の方々が来場し、ステージと出店を楽しみました。



---

## 開設20周年（ハロー家族会）

ハローエンジョイは今年で開設20周年を迎えます。20周年記念事業の1つとして、栗山、札幌の合同行事として道内、道外、海外の3方面を先きに利用者の希望を取りまとめて実施されました。

第一グループは6月に函館2泊3日で101名が参加、第二グループは7月に東京2泊3日で49名が参加、第三グループは9月に韓国旅行3泊4日で6名が参加。それぞれがたくさんの思い出が作れたことと思います。中には、良い思い出もたくさんあったが「歩き疲れた」という感想も数多くあったようです。（年齢には勝てないと）

9月1日は防災の日に因み、「もし、地震が起きたら？」について今のうちに準備するもの、非常食は？地域との連携は？の話し合いの場を持ち、たくさんの利用者が参加、とても真剣に聞いていました。その後実際に非常食を試食しました。なお、ハローには災害を想定し、3日間100人分の非常食、毛布等常備しています。

10月27日（土）には20周年祝賀祭が多く関係者をお招きして開催されます。20周年を迎えられたのも理事長はじめ理事の皆様方、施設長、諸先生方のご努力と地域の皆様方のご協力の賜物と心から感謝いたしております。これからも家族会の皆様方と協力し、仲良く、明るい家族会としてスタッフの皆様方、利用者の皆様方が健康で、明るく、楽しく生活できる環境を創っていけるように、地域との交流を通じてますます発展、繁栄していくことを心より祈念しております。

---

## 北ひろしま福祉会通所家族会の紹介（北ひろしま福祉会通所家族会）

私達は通所家族会に在籍する利用者と会員の相互の親睦を図り、北ひろしま福祉会の発展に協力が目的です。現在、会員は61名です。（内訳：生活介護34名、就労27名）

親の会として数度の年間行事活動を行っております。

平成24年1月 新年会・新成人を祝う会（参加者61名、内新成人6名）クラッセホテルにてバイオリン17名の演奏で新成人を祝いました。

8月 親睦会（参加17名）日頃、保護者とお会いすることが少ない為、レストラン・グリーンパークで親睦ビール会を開催。

9月 見学旅行（参加30名）福祉バスをチャーターし、日帰り見学旅行。今年は登別マリパーク。

以上の活動にて利用者が楽しく過ごせるよう、進めております。

---

## 長沼陽風家族会の紹介（長沼陽風家族会）

長沼陽風家族会は、昭和55年8月4日長沼陽風学園保護者会として発足しました。昭和53年8月7日社会福祉法人長沼陽風会設立認可、昭和54年2月1日利用者が建設工事を経て入所を開始していますから知的障がい者更正施設長沼陽風学園の運営開始後すぐに保護者会も活動を開始したことになります。こうして迅速に活動開始するためには当時の保護者の方々のご苦労は大変なものだったろうと思います。

その後、利用者を見守るのは保護者だけではなく家族全員が大きな役割を果たしているとの声があり平成15年2月9日長沼陽風学園家族会に名称変更しました。

平成20年9月1日にそれまでの知的障がい者更正施設長沼陽風学園が自立支援法による新事業体形移行で事業所名称変更したことを受け、平成21年3月1日長沼陽風家族会に名称変更しました。

長沼陽風家族会の本年度の主な活動内容は次のとおりです。

- ・総会：本会の会計年度は、暦年と同じですので、毎年2月開催です。
- ・研修会：総会開催日に開催しています。本年度は、施設長にお願いして陽風の活動を紹介して戴きました。とても好評でした。
- ・茶話会：公民館等に平日の午後から家族が集い、悩みや思いを語り合っています。
- ・家族合同レクリエーション：利用者本人・家族・支援員が集い、長沼町スポーツセンターでティーボールとルールが簡単なゲームを行っています。団体賞と個人優秀賞があるので利用者もとても張り切っています。
- ・環境整備のお手伝い：利用者本人・家族と一緒に、次のとおり環境整備のお手伝いをしています。

5月 本体施設の花壇整備中心（土・日曜実施）

7月 本体施設周辺の草刈り及びユニ農場の雑草取り（平日実施）

9月 ユニ農場収穫祭事業への参加及び農場の雑草取り（平日実施）

- ・家族会だよりの発行：家族会だよりの「陽風ほっと」を春号と秋号の年2回発行しています。

会則に定める本会の目的「会員相互の親睦と理解の上に、利用者の健全育成に努める。」を常に念頭に置いてこれからも活動を続けていきます。



## 新しのつ幸生園の紹介（新しのつ幸生園保護者会）

幸生園は石狩郡新篠津村に所在し、新篠津福祉会が運営する施設で、以前は更生園と呼んでいました。施設の新築・改修工事の完成と同時に幸生園と改め、名のとおり幸せを生むとしました。理事長が代表となり職員24名、入所者52名、生活介護60名、短期入所者4名、日中一時支援3名をそれぞれの定員として、4つの基本方針に基づき運営されています。

### 基本方針

1. 利用者様をかけがえのない存在として大切にします。
2. 笑顔で対応します。
3. 安全で快適な支援に心がけます。
4. きれいな環境に心がけます。

という事で、とても丁寧に対応していただき、入所者はもちろんこと、保護者としても安心してお世話になっているところです。

事業内容として4つの事業を行っています。

1. 生活介護事業では日中における食事・入浴などの介護、日常生活支援の他次の3つの作業系に分かれ生産活動や創作活動を行っています。

(1) あーとグループ1：紙すき等の軽作業の他レクリエーション活動、ドライブなどを多く取り入れ情緒の安定に配慮しています。

(2) あーとグループ2：T支鈴や陶器等の創作活動を行い温泉での売店や札幌駅内の福祉ショップ「いこーる」等で販売しています。

(3) えこグループ：新篠津村からの委託で空き缶やペットボトルなどの回収・分別のリサイクル作業を行う他清掃・園芸・消臭用のEM活性水の生産を行っています。その他、土曜開所日にはカラオケや映画鑑賞、ゲームなど余暇活動でも楽しんでいます。

2. 施設入所事業では夜間などのおける入浴・食事など日常生活全般の介護などを日常とした支援。
3. 短期入所支援事業では短期に入所を必要とする利用者の入浴・食事など日常生活全般の介護や支援。
4. 日中一時支援事業では入所利用者同様のサービス提供。

上記の他、村の行事にも積極的に参加し、歓迎会・幸生園まつり・昼食会・一泊旅行・青空まつり・作業係り毎のレクリエーション・開演記念日・もちつき・クリスマス・新年会・成人祝賀会・節分会・送別会など、時期、季節に応じて職員一丸となって取り組んで頂いているのを実感しています。毎年行っている一泊旅行も今年は9月に入ってから3つのグループに分け富良野方面に職員・保護者とともに行き、さて来年は、と楽しみにしているところです。

関連施設としては、特別養護老人ホーム「新篠津福祉園」や障害者支援施設「ふれあいの苑」があります。位置は村の住宅街に隣接し静かで良い環境と感じています。保護者会としての活動はなかなか難しいところですが、5月頃に総会、年3～4回の役員会、施設見学や講和を聴く等の研修を行っています。仕事の都合等で参加者は全員とはいかないものの園の担当者の協力により毎年行っています。

以上、施設の紹介をしましたが、今後も施設・保護者が一体となり子供の幸せに向かっていきたいと思っています。



## 恵庭光風家族会 & 恵庭光と風の里の紹介 (恵庭光風家族会)

恵庭市牧場214-9 (高速 恵庭 I T すぐそば)

当施設は、昭和55年7月1日定員30名(入所)で開設され、今年で32年目を迎えました。

施設入所支援・生活介護70名、多機能型事業所80名、ケアホーム6棟 定員33名、ショートステイ10名の施設です。その他、恵庭地域生活相談センター(特定相談、一般相談、地域移行支援、地域定着支援、障がい児相談)、恵庭市障がい者総合相談支援センター eふらっと(恵庭市委託事業、一般相談)を運営しております。

家族会は、昭和57年4月1日設立し、現在会員160名(内 賛助会員2名)で、在籍利用者全員の家族、保護者が家族会の趣旨に賛同され会員となっております。役員は定員15名 本年度は13名で活動しております。役員会は原則月1回開催(8・12月以外)されており、家族会現況報告 施設現況報告 今後の活動予定検討等協議しております。主な活動は、研修会&家族会員懇談会開催、ボランティア活動の推進(主に施設内)、「家族会たより」年3回発行等が本年度の目標です。

総会は毎年4月開催、研修会&家族会員懇談会は9月~10月に開催されております。本年度は9月29日(土)「成年後見制度」の勉強会を開催いたしました。

尚、家族会では、職員1名雇用し、入所者・ケアホーム入居者の所持金管理(年金管理含む)を行っております。

---

## 編集後記 (事務局)

今回は創刊号ということで、主に各家族会のイベントや家族会の紹介となり、全体で6ページになりました。次号からはA4裏表1枚に収めるようにしたいと思います。

次年度は、道央地区知的障がい児・者家族会総会後の5月と各家族会の情報を基本とする11月との、年2回の発行を予定しています。



---

道央地区知的障がい児・者家族会会報 創刊号 2012年10月発行

編集・発行：道央地区知的障がい児・者家族会 会長 小野正弘

事務局住所：北広島市共栄276番地

事務局電話：011-373-8809

---